

- (3) トラック競技において、次ラウンドへの進出者が1/100秒単位で同記録があった場合、1/1000秒単位で判定を行い、進出者を決定する。タイム差が無い場合は抽選を行う。
- (4) 抽選が必要な場合は、アナウンスにより競技場内に連絡し、競技者本人もしくは、代理人にて抽選を行う。アナウンス後20分を経過しても該当者が現れない場合は、権利を放棄したものとみなす。また、該当者が一人も現れない場合は、主催者が代行して抽選を行う。

## 7 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置で行う。
  - ② レーンで行う競技は、欠場者のレーンを空ける。また安全対策の為、フィニッシュ後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を通過する。
  - ③ スタートはクラウチングスタートを原則とする（スターティングブロックについては使用しなくてもよい）。スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。
  - ④ スタートのコールはイングリッシュコールで行う。
- (2) フィールド競技について
  - ① コンバインドAの走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。背、腰等からの着地は無効試技とする。同じ高さを2回失敗した時点で終了とする。
  - ② コンバインドBの走幅跳の試技は2回とする。
  - ③ コンバインドBのジャベリックボール投げの試技は2回とする。助走距離は15m以内とする。ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする(羽だけを持って投げることは禁止とする)。
  - ④ フィールド競技の測定については、一部光波測定器を使用することがある。
  - ⑤ 走幅跳、ジャベリックボール投の競技者は、助走路の外側に主催者が準備したマーカを2個まで設置することができる。走高跳に出場する競技者は、各自でマーカ（粘着テープ、2カ所以内）を助走路内に使用することができる。使用したマーカは競技終了後、役員の指示があった後、各自で片付けること。
  - ⑥ 競技前に行う公式練習は競技役員の指示によって行う。  
(競技の進行状況によっては、実施しない場合がある)
  - ⑦ 「コーチングエリア」は設置しない。選手への助言等は競技進行に支障のない場所から行う事。競技者が直接手に取って映像等を確認することは認めるが、機器等の持ち込みや持ち出しは認めず、その場で確認すること。また機器は手渡しのみ認め、投げ渡し等は認めない。
- (3) リレー競技について
  - ① 男女混合4×100mRは男女各2名から編成され、走順は自由とする。
  - ② リレーオーダーは、出場する各組の招集完了時刻60分前までに、招集所に用意してある所定の用紙に記入し、招集所の競技者係に提出する。時間までにオーダー用紙の提出がなされない場合は欠場として取り扱う。
  - ③ リレー競技におけるテイクオーバーゾーンは30mとし。第2走者以降はテイクオーバーゾーンの中からスタートする。※ゾーン外から走り出してはならない。
  - ④ 競技者は、大きさが最大50mm×400mmの恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりした色の粘着テープをマーカとして1カ所、自らのレーンに貼ることができる。それ以外のマーカは使用できない。競技後は、前走者が自分のレーンに使用したマーカを剥がすようにすること。
  - ⑤ リレーに出場するチームはユニフォームは同一デザインのユニフォームでなくても構わないが、同一のチームとして判別できるように配慮すること。
- (4) コンバインドA・Bについて
  - ① コンバインドAは男女とも走高跳・80mハードルの順で行う。コンバインドBは男子は走幅跳・ジャベリックボール投の順で、女子はジャベリックボール投・走幅跳の順で行う。
  - ② 各種目の得点は、日本陸上競技連盟ホームページにて公開されている『JAAF小学生混成競技得点表(2022年版)』による。得点は男女共通とする。
  - ③ 最初の種目で欠場した競技者は、2種目目には出場できない。

- (5) 競技者は、携帯電話、ミュージックプレイヤー、および外部との通信機能のある腕時計等、競技規則TR6.3.2に関わる電子機器を所持・使用してはならない。また、競技場所を勝手に離れることはできない。

## 8 走高跳について

- (1) 走高跳のバーの上げ方、および練習の高さについては以下の通りとする。ただし、天候等の状況により、審判長の判断で変更することがある。

種目	性別	練習	バーの上げ方
走高跳	男女共通	1m00/1m20	1m00から1m30まで5cmずつ 1m30以降3cmずつ

- (2) 公式練習については示した高さを競技者が選択し2回行う事ができる。

## 9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具については、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。  
 (2) ハードルの規格については以下の通りとする。

性別	種目	高さ	1台目まで	ハードル間	9台目以降	台数
男女共通	80mH	70cm	13m	7m	11m	9台

## 10 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックボール投は12mm以内とする。  
 (2) 競技用靴の厚さについては、WAシューズ規定(TR5)を適用しない。

## 11 抗議について

結果発表アナウンス後、結果に対する抗議は、競技規則(TR8.2)に定められた時間内（次ラウンドがある場合は、15分以内、それ以外は30分以内）に競技者自身、もしくはチームを公式に代表する指導者等から総務(総務員)を通じて、審判長に口頭になされなくてはならない。その後の審判長からの裁定に納得ができない場合は、預託金(1万円)を添えて、総務(総務員)に「抗議申立書」で申し出る。「抗議申立書」は総務が準備する。

## 12 表彰について

- (1) 各種目1～3位にメダル、1～8位に賞状を授与する。ただしリレーは3位までとする。  
 (2) 表彰を受ける際も広告規定が適用されるので、ウェア等気をつけること。

## 13 その他

- (1) 競技場の開門は7:30とする。係の指示に従い入場すること。  
 (2) 監督会議は当日8:00からメインスタンド下走幅跳ピットで行い最終打合せを行う。  
 (3) 大会プログラムは競技場正面入り口内にて、1部500円で販売する。  
 (4) 競技会の結果については、競技場正面入り口付近に掲示する。なお鹿児島陸協HPでも公開する。  
 (5) 競技場内に持ち込む衣類・バック等については広告規定を適用する。  
 (6) 更衣室の利用については、更衣のみとし、控え場所としての使用は認めない。また貴重品等の管理については、各自で責任をもって行う事。  
 (7) 事故発生については、応急処置を当協会医師・医務員が行うが、他の一切の責任は負わない。各自スポーツ安全保険に加入しておくこと。  
 (8) メインスタンドへのテント設置はできない。バックスタンド・サイドスタンドは許可する。  
 (9) メインスタンドの座席に物等を置いたりしての場所取り行為を禁止する。  
 (10) 各自が出したゴミは必ず持ち帰ること。  
 (11) 個人情報の取り扱いについて  
 ① 大会プログラムに掲載する。  
 ② 記録掲示板、ホームページに掲載する。  
 ③ 競技場内アナウンスに使用する。  
 ④ 競技結果等、報道機関、関係各所に提供する。

- ⑤ 優勝記録や大会記録等，次年度以降もプログラム等に掲載する。
  - ⑥ 各報道機関・メディアに写真や映像が公開されることがある。
- (12) 全国大会(国立競技場)への参加資格並びに条件
- ① 選手は小学5・6年生の年齢に該当する児童であること。  
 小学5年生種目：2013年4月2日～2014年4月1日の間に生まれた者  
 小学6年生種目：2012年4月2日～2013年4月1日の間に生まれた者
  - ② 選手団は下記とおりとす。

実施種目		人数	男女	種目数
5年生100m	男/女	2	各1	2
6年生100m	男/女	2	各1	2
コンバインドA：80mハードル・走高跳	男/女	2	各1	2
コンバインドB：走幅跳・ジャベリックボール投	男/女	2	各1	2
男女混合4×100mリレー	混合	6	各3	1
選手合計		14		9
監督・コーチ		4		
合計		18		

※支援コーチ（自費参加）：4人以内

- ③ 選手団は全国大会日程9月21日(土)～9月23日(月)の全日程に参加すること。
- ④ 詳細は日本陸連ホームページに掲載してある。  
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1878/>
- ⑤ 全国大会出場選手については，大会後選考委員会を開き決定する。

# 競技注意事項

## 1 競技規則

本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技注意事項によって実施する。ならびに競技会における広告規定を適用する。

## 2 練習について

- (1) 練習については、役員（練習会場係）の指示に従い、原則補助競技場およびバックスタンド下雨天練習場を使用すること。
- (2) 本競技場での練習については、7時30分からトラック種目最初の開始時刻30分前まで認める。状況によっては、練習時間等の変更を行う。役員の指示に従うこと。
- (3) 本競技場・補助競技場ともに逆走は禁止する。
- (4) トラックにミニハードル等、私物の道具を置くことは禁止する。
- (5) 練習等でトラックにテープ等を貼った場合、練習後には必ず回収すること。

## 3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場第3コーナー付近（バックスタンド裏）で行う。
- (2) 招集時間は、開始・完了ともに、競技順序に記載された時刻で行う。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したもとして出場を認めない。
- (4) 招集の方法については、以下の通りとする。
  - ① 招集開始時刻に招集場所にて競技者本人が競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用シューズのスパイクピン・ウェアや所持物の商標の点検を受ける。
  - ② トラック競技出場者は腰ナンバーカードを受け取る。（リレー競技は第4走者のみ）受け取った腰ナンバーカードは、競技終了後に返却すること
  - ③ 携帯電話、ミュージックプレイヤー、および外部との通信機能のある腕時計等、競技規則TR6.3.2に関わる電子機器を持ち込んではいけない。
  - ④ 代理での点呼は認めない。2種目同時に出場する競技者は、招集開始時刻前に事前に競技者係へ申告すること。リレー競技が先に行われる場合は、リレー競技終了後、フィールド競技場所へ移動すること。フィールド競技が先の行われる場合は、フィールド審判員の申告し、指示に従い、リレー競技へ出場すること。
  - ⑤ 各種目を棄権する場合は、招集開始時刻前に競技者係へ申告すること。
  - ⑥ コンバインドA・Bについては、2種目とも招集所にて競技順序に示した招集時間で招集を行う。2種目についても招集完了時刻に遅れた場合は棄権とみなす。

## 4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、主催者で用意し、大会受付時に配布する。
- (2) 配布されたアスリートビブスをトラック競技およびジャベリックボール投は、胸部・背部につけて競技を行うこと。跳躍種目に出場する選手は、胸部・背部どちらか一方だけ取り付ければよい。

## 5 競技場の入退場について

- (1) 招集所から競技場への入場は、競技者係の指示に従い、決められたルートで移動すること。
- (2) 競技終了後は、役員の指示に従い、場外へ退場する。（本部席前は通行禁止）
- (3) 競技者以外（付き添い等）は、招集所以降、競技場所へは立ち入る事ができない。
- (4) 8位までの入賞者は、競技役員の指示で、表彰者控え場所へ移動する。そこで待機し、役員の指示で表彰を受け、退場する。

## 6 番組編成について

- (1) トラック競技については、プログラム記載の組・レーン順、フィールド競技の試技順については、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 100mおよび4×100mRについては、予選の結果をもとに、記録上位8位までを決勝進出とし、競技規則に基づき決勝の番組編成を行いレーンを決定する。